

令和7年度
札幌コンサートホール
事業報告書

公益財団法人 札幌市芸術文化財団

目 次

I	管 理 業 務 の 実 施 状 況・・・・・・・・・・・・・・・・	1
II	管 理 業 務 に 係 る 収 支 決 算・・・・・・・・・・・・	24
III	管理に関する協定書 第34条に規定する自主事業の実施状況・・	26

I 管 理 業 務 の 実 施 状 況

1 統括管理業務

▽ 管理運営に係る基本方針の策定

今期（令和 5 年～9 年）指定管理より、財団の中期経営計画を定めるとともに、当ホールの管理運営については次の 6 つの基本方針を策定している。

- （1）「質の高い音楽を鑑賞できる機会の提供」
- （2）「誰もが気軽に音楽を楽しめる、愛されるホールへ」
- （3）「札幌の音楽文化の未来を見据えた育成、支援」
- （4）「他分野との連携を広げ、札幌の音楽文化をあらゆる分野へ」
- （5）「利用者の声を反映し、利便性の高いサービスを提供」
- （6）「安心・安全で、持続可能な社会に貢献できる施設運営」

▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績

- ▼ 「札幌市の公の施設として、公平性を重視した運営を行う」という方針を策定し、条例・規則等に基づく公正な利用申込機会の提供や、音楽専門家などの学識経験者も含む貸館審査委員会による公平・公正な審査を実施した。
- ▼ 施設申込は、公平性を重視した一斉受付を行う他、先着順による随時受付に移行後はホームページで空き状況を公開し、平等かつ公平な利用機会を提供した。併せて、利用に関する重要事項（利用料金の改定及び改修工事に伴う休館）についてもホームページ等により広く周知に努めた。
- ▼ 札幌市の音楽文化の振興、発展のために重要であり、市民要望の強いアーティスト等の公演及び長期間の準備期間が必要となる公演については、一般利用に先立っての申請が可能な制度により、貸館審査委員会に諮り対応した。

▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進

- ▼ エネルギー管理標準（平成 18 年制定、令和 3 年改訂）の規定に基づき、省エネルギーに取り組んでいる。省エネルギー推進委員会を設け、定期的に省エネルギー推進活動の検討を行っている。
- ▼ 令和 4 年度に変更した北海道電力との需給契約電力（高圧、1000KW）を維持し使用電力の低減に努めた。
- ▼ 設備委託業者の業務日誌などで使用量を日々確認し、省エネルギー化の推進を図り電気使用量は約 2%減となった。一方、ガス使用量は令和 7 年度 12～1 月の降雪量が多くロードヒーティングの稼働率が高かったことから、使用量が大きく増加し、前年度と同等となった。
- ▼ 札幌市環境マネジメントシステムに則り、各種報告を行った。”

▽ 管理運営組織の確立（責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成）

- ▼ コンサートホール事業部長（支配人）を施設の統括責任者として配置している。また効率的な運営を行うため、責任体制の明確化を図るとともに、事業の特性を考慮した職員配置を実施している。
- ▼ 人事異動などにより変更となった業務分担、指揮命令系統、連絡系統等を定めた。
- ▼ 令和6年度からホール運営知識向上研修としてホールの設計・建設に携わった方による講義を実施し、施設の歴史、構造を学び、お客様案内等に活用した。

その他、基礎的、専門的な知識向上のために各種職員研修を実施したほか、外部団体主催の研修にも職員を派遣した。

- ・ 4月 新採用研修
- ・ 6月 コンプライアンス研修
- ・ 7月 クラシック研修
- ・ 7～9月 情報セキュリティポリシー研修
- ・ 8月 不当な差別的取扱防止のための研修
- ・ 9～11月 パソコン研修（Excel・Illustrator）
- ・ 11月 札幌市公式ホームページ担当者レベルアップ研修
- ・ 11～12月 ビジネススキル研修
- ・ 12月 管理職マネジメント研修
- ・ 12月 情報セキュリティポリシー研修（個別指導）、普通救命講習
- ・ 12～1月 ホール運営知識向上研修
- ・ 2月 コンプライアンス研修
- ・ 2月 クラシック研修Ⅱ

▽ 管理水準の維持向上に向けた取組

- ▼ 財団内 LAN によるグループウェアを活用し、事業部内、さらに財団全体で情報を共有している。また、財団共用の予算執行、決算管理等経理システムにより、経理事務を効率化し迅速な処理を行っている。併せて、令和7年度は財団4施設において施設予約システムの更新・統一を行い、利用者の利便性向上を図った。
- ▼ コンサートホール単独のグループウェアも併せて活用し、職員のほか委託業務スタッフ（清掃、警備、設備、舞台、レセプションист）にも公演やホール内施設の詳細な情報について連絡事項の共有を図っている。接客の際に必要な細やかな情報共有に努めた。
- ▼ 朝礼の実施により、係ごとの業務連絡など日々の最新情報をホール職員内で共有できるよう取り組んだ。
- ▼ 役職者会議や各係会議を定例的に開催し、業務の進捗を確認するほか、ホールの諸課題についても検討を進め、改善に取り組んだ。

▼ 火災などの災害に迅速に対応できるよう、年2回の防災訓練を実施したほか、地震の発生が多かったことから、危機管理マニュアルを再確認することなどの周知を図った。

▼ 防火管理委員会を定例的に開催し、防火・防災管理の向上に取り組んだ。

▽ 第三者に対する委託業務等の管理

(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認)

▼ 施設の安全運営に努め、専門技術・資格・経験を持つ人材を確保した。委託の際には、施設の安全と快適な利用に繋がるよう努め、委託者・受託者側双方に責任者を置き、監督と履行確認を行った。再委託を行うにあたっては、指定管理の協定書に基づき札幌市の承認を受け実施した。

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整（運営協議会等の開催）

開催回	協議・報告内容
第1回 令和7年 6月11日	・令和6年度事業報告 ・4月～5月の施設利用状況 ・令和7年度主催事業に関する報告 ・ホール改修工事について ・施設見学会の実施について ・Kitara ギャラリー「PMF」展について ・令和7年度ホールスポンサーについて
第2回 令和7年 9月24日	・4月～8月の施設利用状況 ・主催事業に関する報告 ・Kitara アルザスワインの販売について ・Kitara ギャラリー「能藤玲子×砂澤ビッキ」展について ・第26代専属オルガニストの就任について
第3回 令和7年 12月25日	・4月～11月の施設利用状況 ・主催事業に関する報告 ・ホール改修工事について ・演奏会付き防災訓練について ・施設見学会の開催について ・新施設予約システム開始について

第4回 令和8年 3月25日	・4月～2月の施設利用状況 ・主催事業に関する報告 ・ホール改修工事について ・演奏会付き防災訓練の実施報告 ・Kitara ギャラリー「ショスタコーヴィチ展」について ・カワイピアノ「SK-EX」導入について
--------------------------	--

<協議会メンバー>

(地域) 山鼻地区連合町内会会長

(利用者) キタラボランティア代表、オルガニスト、ピアニスト、音楽事務所代表

(行政) 札幌市市民文化局文化部長

(指定管理者) 札幌コンサートホール事業部長(支配人)

▼ 政策推進連絡会の開催

開催回	協議・報告内容
第1回 (8月7日)	(1)各施設の重点取組事項について (2)議題 ①令和8年度予算要求に向けて ②出資団体評価について ③委託費補填の次年度以降の予算について 当財団における委託費補填の取扱と次年度以降について ④50万円以上の修繕・設備投資の取扱について 当財団の修繕・設備投資の規模と今後の財団収支の影響について (3)その他意見交換
第2回 (12月16日)	(ホールより) (1)令和7年度の予算執行見込と事業実施状況について (2)令和7、8年度の事業展開について (3)取組における評価指標の見直しについて ①大規模改修について ②光熱水費と委託費の補填継続 ③レセプションニスト料金の改定 ④レストランの公園使用料減免 (文化部より) (1)令和8年度コンサートホール関連事業と予算概要 (2)大規模改修工事について

▽ 財務（資金管理、現金等の適正な取扱）

- ▼ 資金管理については、指定管理業務、自主事業ごとの区分経理を実施しており、公認会計士による外部会計監査を導入している。
- ▼ 現金や預金通帳及び印鑑、金券類は、分任出納員による厳格な管理を行い、内部監査などで定期的な確認作業を行っている。
- ▼ 現預金の入出金については、複数の職員による確認を実施し、不適切な処理が行われないよう厳しくチェックを行った。

▽ 要望・苦情対応

- ▼ 要望・苦情については報告書の作成、対応策の検討、職員への周知を徹底したほか、札幌市に関連する苦情等については所管課に相談し指示を仰いだ。

- ▼ 公演に関する要望・苦情については、レセプションист、職員、主催者で連携を取り臨機応変に対応した。

また、毎週のCS（顧客満足）会議や月1回のレセプションистとの会議を通じて、お客様のご意見や要望等の情報収集・把握に努め、サービス向上や施設設備面での改善を行った。

公式ホームページにはお問い合わせフォームを設け、要望や苦情等については電子メール等を通じて速やかに回答を行うとともに、施設運営協議会及び札幌市に報告した。

▽ 記録・モニタリング・報告・評価（記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施）

- ▼ 指定管理業務に関する下記の記録・帳簿等については適切に整備保管した。

- ・事業日誌等
- ・管理業務に関する諸規定
- ・文書管理簿
- ・各年度の事業計画書及び事業報告書
- ・収支予算・収支決算に関する帳簿
- ・金銭出納に関する帳簿
- ・物品の受払いに関する帳簿
- ・各種業務に関する記録書類及び札幌市が必要と認める書類

- ▼ セルフモニタリングについては、公演来場者や貸館利用者に対し紙媒体、WEBでアンケート調査を行った。また、年2回の業務検査、財務検査及び業務に関する自己チェックも実施した。要望・苦情等の対応は運営協議会で報告のうえ、委員からの意見・助言を受け、改善を要するものについては対応できる体制を整えた。

【利用者からの要望・苦情と運営協議会委員からの意見】

- ・新たに導入したピアノ「SK-EX」について、広く利用者への周知を図るべきとの委員の意見があり、SNSを活用し周知を図った。
- ・鑑賞マナーの啓発や公演終了後の園路混雑に関する利用者からの声に対し、マナー啓発に係る効果的なアナウンス内容等の確認を行った。

- ▼ 事業等の報告や事業評価等については、協定の定めに応じて札幌市に提出した。

2 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上

▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上(事故の有無などの安全衛生面を含む)

- ▼ 給与の額や支給方法等の雇用条件については、プロパー職員、契約職員、パート職員の各々について就業規則を定めているほか、プロパー職員については別途給与規程を定め明示している。これらを変更する場合には職員の過半数を代表する者の意見を聴取し、行政官庁への届出を行っており、財団 LAN により、常に各職員が閲覧可能な状態としている。また、賃金台帳など法定帳簿等も整備している。
- ▼ 毎月の給与計算や社会保険・労働保険関係の各種手続き等は、財団の総務課が社会保険労務士事務所に委託しており、労働関係法令改正への対応についても、社会保険労務士と相談して行っている。
- ▼ 産業医とともに労働災害の防止、職場環境の向上に努めるとともに、顧問弁護士とも委託契約を締結しており、心身の健康、労働・雇用関係等について相談に応じる体制をとっている
- ▼ 特別条項付 36 協定を締結するにあたり、法定の上限を下回る時間外労働の制限を設けている。また、定期的に開催する役職者会議で職員の超過勤務時間を確認するとともに、適正な時間外勤務の執行に取り組み、職員の健康管理の増進及び仕事と家庭の調和の実現（ワークライフバランスの推進）に努めた。 また、札幌市ワーク・ライフ・バランス plus 企業（ステップ 3）として認証を受けているほか、4 年計画で策定した次世代育成支援対策推進法及び女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画を現在遂行中である。
- ▼ 高齢者等雇用の安定等に関する法律に基づき、定年（61 歳）退職後に、希望者を 65 歳まで継続雇用し、高齢者の雇用を促進した。
- ▼ 通勤災害発生：1 件
自転車通勤時に車道から歩道に移動しようとして転倒し、顔面及び右手を負傷。

3 施設・設備等の維持管理業務

▽ 総括的事項

(利用者等の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制の確保、保険加入)

- ▼ 日常における施設の維持管理については、来館者の安全を最優先に業務を行った。
- ▼ 財団 4 施設において新施設予約システムの導入を行い、利用者が 1 つのアカウントで財団が指定管理する他施設の予約もできるようになった。
- ▼ 令和 10 年度から予定されている大規模改修工事に向け、札幌市と連携しながら必要事項の検討を進めた。また、工事に伴う休館期間や工事概要等については HP や電話等で利用者に速やかな周知を図った。
- ▼ 利用者に対しては、ホームページやパンフレット等において、必要な連絡先を記載するとともに、問合せフォームも用意し随時受付できる体制を維持した。また、緊急時に対応ができるよう緊急連絡網を整備した。

- ▼ 施設損害賠償保険は、全国公立文化施設協会で運営する公共施設用に設計されたものに加入し、万一の事故に対応可能な体制をとっている。

▽ 施設・設備等の維持管理

(清掃、警備、施設・設備の保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等)

- ▼ 清掃や警備等の建物管理業務、電気設備や昇降機等の建物保守に関わる設備管理業務のほか、照明・音響・レセプションистなど、専門性を要するホール業務については第三者への委託を行い、ホールの運営に支障がないよう対応した。

- ▼ 施設内備付備品は4カ年の点検計画を作成し、計画に則って点検を行うことで適切な管理に努めた。また、オルガンやピアノ等の楽器については、専門保守業者の意見を参考にしながら適切な管理を行った。

▽ 防災業務

- ▼ コンサートホール消防計画に基づき、8月と1月にホール職員、常駐委託業者等を対象とする法定防災訓練を実施した。
 - ・ 8月は昼間の小ホール公演及び小リハーサル室A利用中に小ホール楽屋で出火したことを想定し、ホール職員と常駐業者(22名)による総合訓練を実施。
 - ・ 1月は札幌市消防音楽隊と協力し、一般市民から参加を募り、コンサート中の火災を想定した演奏会付き防災訓練を行った(参加者数370名)
 - ・ 火災報知器、消火設備点検については9月と3月に実施。なお、令和8年1月13日からの3年間、防火対象物点検報告特例認定を受けている。

4 事業の計画・実施業務

▽ 音楽の鑑賞会事業及び普及振興事業の実施に関する業務

〈音楽鑑賞事業〉

▼ オーケストラシリーズ

大ホールの音響特性を活かし、世界的に著名なオーケストラ演奏の鑑賞機会を市民に提供した。

①反田恭平&ジャパン・ナショナル・オーケストラ 北海道ツアー2025 札幌公演

期日：令和7年9月11日(木)／入場者数：1,922人

令和6年に好評を博した反田 恭平&ジャパン・ナショナル・オーケストラを再度招へいし、反田氏の弾き振りによるモーツァルトのピアノ協奏曲 第23番やベートーヴェンの交響曲 第7番を披露した。また、当ホールから道内3館(北見、帯広、函館)に企画を提案し、初めて道内ツアーを実施した。

②チョン・ミョンフン指揮 ミラノ・スカラ座フィルハーモニー管弦楽団

期日：令和7年9月20日（土）／入場者数：1,932人

イタリアの名門歌劇場のオーケストラ ミラノ・スカラ座フィルハーモニー管弦楽団と当楽団名誉指揮者を務めるチョン・ミョンフンを招へいし、世界各国で活躍するピアニスト 藤田真央をソリストに迎えてコンサートを開催。ラフマニノフのピアノ協奏曲 第2番やチャイコフスキーの交響曲 第6番「悲愴」を披露した。

▼ ソリストシリーズ

器楽等の著名な演奏者（ソリスト）を招へいし、質の高い演奏を市民に紹介した。

①鈴木雅明チェンバロリサイタル

期日：令和7年7月10日（木）／入場者数：415名

日本を代表する古楽器オーケストラ「バッハ・コレギウム・ジャパン」を創設し、世界的なバッハ演奏の第一人者である鈴木雅明による Kitara 初のチェンバロリサイタルを開催し、J.S. バッハの作品をお話を交えながら披露した。

②フランチェスカ・デゴ 無伴奏ヴァイオリンリサイタル

期日：令和8年1月18日（日）／入場者数：293人

パガニーニ国際ヴァイオリンコンクールでイタリア人女性初の受賞者として注目を集める人気ヴァイオリン奏者 フランチェスカ・デゴを招へいし、詩人である父の作品にインスピレーションを受けた委嘱作品などを披露した。

③〈第28回リスト音楽院セミナー〉講師による特別コンサート

(1) ミクローシュ・ペレーニ チェロリサイタル

期日：令和8年2月18日（水）／入場者数：388人

(2) ガーボル・ファルカシュ ピアノリサイタル

期日：令和8年2月20日（金）／入場者数：274人

リスト音楽院教授を務める世界的チェロ奏者 ミクローシュ・ペレーニのリサイタルでは、自作曲をはじめとしたプログラムを披露し、ピアノ共演には同音楽院副学長バラージュ・レーティを起用した。 リスト音楽院学長を務める世界的ピアニスト ガーボル・ファルカシュによるリサイタルでは、ベートーヴェンとリストの名作を披露した。

▼ 室内楽シリーズ

室内楽で著名な演奏家・演奏団体を招へいし、小ホールの音響特性をいかした公演を実施した。室内楽の多彩な魅力を広く市民に紹介した。

①ザ・ベース・ギャング

期日：令和7年11月7日(金)／入場者数：368人

ローマ・サンタ・チェチーリア管弦楽団をはじめ、世界トップクラスのオーケストラのコントラバス奏者4名で結成されたザ・ベース・ギャングを招へいし、様々なジャンルの曲を披露し、初心者も楽しめる公演となった。

②〈ハンガリーの俊英たち VI〉サバディ・イルディコフルートリサイタル

期日：令和8年2月14日(土)／入場者数：227人

リスト音楽院との連携により、ハンガリーの優れた若きアーティストを紹介するシリーズの6回目。若くしてオーケストラの首席奏者を務めるなど活躍目覚ましいサバディ・イルディコのフルートリサイタルを開催し、共演者には、第22回リスト音楽院セミナーで審査員特別賞を受賞した荒川 浩毅を起用した。

〈音楽普及事業〉

▼ ホール開放事業 Kitara あ・ら・かると

3日間にわたり演奏会や見学会、体験イベントなど音楽を楽しむプログラムを実施するゴールデンウィークの音楽祭。クラシック音楽の普及と、ご家族で気軽にコンサートホールに来ていただくことを目的とし、未就学児が入場可能なコンサートも実施した。

期日：令和7年5月3日(土・祝)～5日(月・祝)

①きがるにオーケストラ／入場者数：1,082人

②スプリング・ブラス～中学生スペシャル！／入場者数：970人

③ファニーさんのオルガンコンサート～星をめざして～／入場者数：839人

④ 3歳からのコンサート

(1) ピアノ&フルート&絵本／入場者数：427人

(2) ピアノ／入場者数：392人

(3) ソプラノ&バリトン&ピアノ／入場者数：429人

⑤オルガン職人といっしょに！手づくり小型オルガンをさわろう／来場者数：868人

⑥無料ミニコンサート／来場者数：353人

⑦楽器づくり体験／来場者数：542人

⑧Kitara あ・ら・かると見学ツアー Kitara 地下探検隊／入場者数：50人

⑨Kitara 子どもスタッフ～レセプションに挑戦！／参加者数：6人”

▼ オルガン事業

国内最大級のパイプオルガンと専属オルガニスト制度を活用し、子どもから大人まで時節のイベントを取り入れたオルガン音楽を楽しむコンサートを行った。

①ファニーさんのオルガンコンサート～星をめざして～（再掲）

②Kitara のバースデイ

期日：令和7年7月5日（土）

（1）まずはここから公演／入場者数：1,554人

（2）もっとじっくり公演／入場者数：1,065人

「Kitara のバースデイ」では、0歳児を含む未就学児が入場可能な〈まずはここから公演〉とオルガン好きな方に向けた〈もっとじっくり公演〉の2公演を実施し、幅広い層を対象にオルガンの魅力を伝えた。

③〈三城美装株式会社 presents〉第25代札幌コンサートホール専属オルガニスト ファニー・クソー フェアウェルオルガンリサイタル

期日：令和7年8月23日（土）／入場者数：936人

④〈株式会社東洋実業 presents〉第26代札幌コンサートホール専属オルガニスト 赤枝サンテソン留果デビューリサイタル

期日：令和7年10月11日（土）／入場者数：784人

⑤〈JALpresents〉クリスマスオルガンコンサート

期日：令和7年12月21日（日）／入場者数：1,569人

「〈JAL presents〉クリスマスオルガンコンサート」では、専属オルガニストと市内高校合唱部との共演のほか、第27回リスト音楽院セミナーにて審査員特別賞を受賞した地元高校生をゲストに迎え、ヴァイオリンと合唱の共演も行った。また、開場中には冠スポンサーである JAL ベルスターによるハンドベルのプレコンサートも実施した。

⑥〈株式会社クリーンコーポレーション presents〉オルガンウィンターコンサート

期日：令和8年2月7日（土）／入場者数：1,489人

⑦オルガン CD 制作

▼ 札幌オーケストラシリーズ

季節のイベントにふさわしい家族で楽しめるコンサートを開催し、オーケストラの魅力を伝えた。

①きがるにオーケストラ（再掲）

②Kitara のクリスマス

期日：令和7年12月20日（土）／入場者数：1,107人

札幌出身の指揮者 横山 奏と高校生ヴァイオリニストをソリストに迎え、クリスマスを彩るプログラムを披露した。また、普段、外出や鑑賞の機会が限られる高齢者に向けて音楽を通して心の癒しや活力を与えることを目的として、札幌市保健福祉局の協力のもと、市内シニア向け施設等（約700施設）に公演映像の配信を行った。

③Kitara のニューイヤー～オペラアリア名曲選～

期日：令和8年1月10日（土）／入場者数：1,503人

日本を代表するオペラ歌手3名をソリストに迎え、新年の幕開けにふさわしい華やかなプログラムを実施した。また、開場中、専属オルガニストによる演奏でポジティブオルガンのロビーコンサートも実施した。”

▼ Kitara アフタヌーンコンサートシリーズ

初めてクラシック音楽に触れる方にも、これまでホールに足を運んでくれたKitara ファンにも楽しんでもらえる多彩な内容と来場しやすい時間設定により、多くの市民に親しまれるコンサートを開催した。

今年は、生誕340周年を迎えたJ.S. バッハをテーマに、各公演でバッハの作品を演奏し、これら3公演を通して鑑賞できる「アフタヌーンセット券」を販売したところ、アフタヌーンセット券は前売りにて完売となった。

また、財団他施設とも連携し、音楽と美術の融合したプログラムを実施した。また、館内レストランと連携した割引特典も行い、コンサート以外の楽しみも提供できた。

①Kitara×札幌芸術の森連携事業 金子三勇士ピアノリサイタル～芸術の森を歩いて～

期日：令和7年9月28日（日）／入場者数：724人

芸術の森事業部との連携事業として、金子 三勇士が芸術の森野外美術館を訪れ、展示されている彫刻作品から連想した楽曲を彫刻作品の映像とともに演奏した。

②朴葵姫ギターリサイタル

期日：令和7年10月25日（土）／入場者数：408人

多くの国際ギターコンクールで功績を残しているクラシックギタリストの朴葵姫を招へいし、出演者のトークを交えながらギター作品の名曲を披露した。

③浜松市・札幌市音楽文化都市交流事業 第12回浜松国際ピアノコンクール優勝／
札幌市長賞受賞者 鈴木愛美ピアノリサイタル

期日：令和7年11月22日（土）／入場者数：394人

浜松市と札幌市との間で平成21年に調印された「音楽文化都市交流宣言」に基づき開催されており、両市の交流促進に寄与している。

▼ 地元音楽家・音楽団体との活動支援・連携事業

札幌市内で活動する演奏家、音楽団体及び道内の音楽大学とともに、札幌独自の音楽公演事業を行い、演奏家のレベルアップと聴衆づくりに努めた。

①〈北海道教育大学・札幌大谷大学・Kitara 連携事業〉若い芽の音楽会

期日：令和7年12月6日（土）／入場者数：201人

北海道教育大学及び札幌大谷大学と連携し、各校から推薦を受けた卒業生・在校生による「若い芽の音楽会」を実施した。ソロやアンサンブルなど、優秀な若手演奏家による演奏を披露した。

②Kitara アーティスト・サポートプログラム

イーゴリ・ストラヴィンスキー作曲「兵士の物語」

期日：令和8年1月28日（水）／入場者数：181人

市民から公演企画を公募する「Kitara アーティスト・サポートプログラム」では、4団体の応募があり、ストラヴィンスキーの「兵士の物語」公演の1企画を採択し、北海道を中心に活動する若手音楽家たちが創意工夫を凝らしたコンサートを開催した。

また、新たに応募前に、スタッフが応募にあたっての様々な相談に応じる相談会を実施した。

③〈Kitara&札幌音楽家協議会連携プロジェクト

札幌の音彩（ねいろ）Ⅲ～春をつげる北のアーティストたち～

期日：令和8年3月21日（土）／入場者数：394人

札幌音楽家協議会とのプロジェクト「札幌の音彩（ねいろ）Ⅲ」の最終年となり、国内の様々なオーケストラと共演を重ねる札幌出身の横山 奏の指揮で室内オーケストラと女声合唱、2台ピアノのための協奏曲など、これまでの活動の成果を披露した。

▼ 社会包摂事業

文化芸術施設に来館する機会の少ない方々にも音楽の楽しさを届けることができる親子向け、障がい児童向けの事業を実施した。

① 0歳からのコンサート 絵本 de クラシック

期日：令和7年6月7日（土）／入場者数：1,827人

0歳から鑑賞可能な親子で楽しめるコンサートとして、絵本アニメーションをスクリーンに投影し、声優による絵本の朗読と金管楽器、ピアノの生演奏による「絵本 de クラシック」を開催した。チケットは完売し、当日は親子連れで賑わった。

② 子どものための Kitara 参加型音楽会&音楽家育成ワークショップ

期日：令和7年9月3日（水）、4日（木）

（ア）音楽会

（i）午前の部（聴覚障がい）／68人

（ii）午後の部（肢体不自由）／29人

（iii）午前の部（知的・言語及び情緒障がい、視覚障がい）／381人

（イ）音楽家育成ワークショップ／28人 ※引率教諭、見学者を含む

文化芸術施設に来館する機会が少ない市内の特別支援学校および支援学級に通う児童を対象に、ピアノ、フルート、パーカッションの演奏に歌を交え、手拍子や身体を使った音楽会を実施。令和4年度から段階的に対象を拡大し、身体障がい、知的障がい、聴覚障がいのある児童のほか、今年度から視覚障がいも対象に含め全3公演を開催した。さらに今後の継続的な実施を視野に指導者養成の観点から、市内音楽家や音楽を学ぶ学生を対象とした育成ワークショップを初めて実施した。

▼ 他事業部との連携事業

財団各施設と連携し、各施設の特色を生かした多彩な事業を実施した。

① 〈札幌市民ギャラリー&Kitara 連携事業〉スプリングコンサート

～ポジティブオルガンとヴァイオリンの調べ～

他事業部との連携事業として令和4年度から継続して実施している事業。Kitaraのポジティブオルガンを使って専属オルガニストと北海道出身のヴァイオリニストのお話付きの無料コンサートを市民ギャラリーで実施した。

② 〈Kitara×札幌芸術の森連携事業〉金子三勇士ピアノリサイタル～芸術の森を歩いて～（再掲）

〈教育・人材育成事業〉

▼ エデュケーションプログラム

子どもたちの感性を伸ばし、能力を引き出す事業を実施した。

①Kitara あ・ら・かると（再掲）

②0歳からのコンサート絵本 de クラシック（再掲）

③Kitara のバースデイ（再掲）

④Kitara ファースト・コンサート

期日：令和7年9月25日（木）、26日（金）、10月28日（火）、29日（水）、11月10日（月）、11日（火） 全10公演／入場者数15,522人

札幌市教育委員会と連携して市内全小学6年生及びさっぽろ連携中枢都市圏の小学6年生を無料招待し、パイプオルガンとオーケストラの演奏を鑑賞するコンサートを実施した。今年度には参加児童数が延べ30万人を超えた。また、事後学習教材として施設や楽器の豆知識、コンサートマナーなどを学ぶことができる「キタラかるた」を作成し学校に配布した。”

▼ アウトリーチ事業

演奏家が公共施設や学校等に赴き、生の音楽の魅力と楽しさを間近で伝える事業を実施した。

①〈札幌市民ギャラリー&Kitara 連携事業〉スプリングコンサート～ポジティブオルガンとヴァイオリンの調べ～（再掲）

②学校 DE カルチャー オルガンアウトリーチコンサート

期日・会場：令和7年10月23日（木）・札幌市立米里小学校／参加者数79人

令和7年11月27日（木）・札幌市立前田中央小学校／参加者数74人

札幌市文化局と連携し「学校 DE カルチャー」企画の一環として、移動可能なポジティブオルガンとともに小学校へ赴き、専属オルガニストによる演奏で生の音楽の魅力と楽しさを伝えた。”

▼ セミナー事業

世界的音楽教育機関や地元音楽大学と連携し、講習会や演奏会を開催した。

①〈札幌大谷大学・Kitara 連携事業〉

パイプオルガン特別講義&体験レッスン

〔講義〕令和7年5月22日（木）／参加者数181人

〔体験レッスン〕令和7年6月17日（火）／参加者数16人

専属オルガニストを講師として、地元の音楽大学生を対象にパイプオルガンの基礎知識や楽譜の読み解き方などについて、デモンストレーション演奏を交え解説する事業を一般にも開放して実施した。また、希望者には講師による体験レッスンを実施した。

②第 28 回リスト音楽院セミナー

期日： 令和 8 年 2 月 18 日（水）～23 日（月・祝）／セミナー受講生 40 人、聴講生 39 人

【イベント】

（ア）〈ハンガリーの俊英たちⅥ〉サバディ・イルディコフルートリサイタル
（再掲）

（イ）講師による特別コンサート（2 公演）（再掲）

（ウ）〈札幌大谷大学・Kitara 連携事業〉特別レクチャー&公開レッスン

期日： 令和 8 年 2 月 22 日（日）／入場者数：80 人

（エ）受講生コンサート

期日： 令和 8 年 2 月 23 日（月・祝）／入場者数：161 人”

ハンガリーの伝統ある世界的な音楽教育機関「リスト音楽院」と連携しホール開館時から実施している「リスト音楽院セミナー」を開催した。世界的な音楽家による指導を直接受けられるセミナーとしてピアノコースとチェロコースを開講し、全国各地から幅広い年齢層の参加があった。セミナー最終日には、講師の推薦を受けた受講生が出演するコンサートを開催し、令和 9 年にハンガリーで開催されるコンサートに出演する最優秀受講生のほか、審査員特別賞 1 名が選出された。

▼ 地元音楽大学等との連携事業

音楽学科を設置している地元大学と連携し、未来の音楽家を目指す学生の活動を支援し広く市民に紹介した。

①〈札幌大谷大学・Kitara 連携事業〉パイプオルガン特別講義&体験レッスン
（再掲）

②〈北海道教育大学・札幌大谷大学・Kitara 連携事業若い芽の音楽会（再掲）

③〈札幌大谷大学・Kitara 連携事業〉第 28 回リスト音楽院セミナー
特別レクチャー&公開レッスン（再掲）

〈全国ホール等とのネットワーク事業〉

▼ ホール・他都市連携事業

全国・全道のホールと連携して、魅力的な公演を実施し、音楽文化振興を図った。

①浜松市・札幌市音楽文化都市交流事業 第12回浜松国際ピアノコンクール優勝／
札幌市長賞受賞者 鈴木愛美ピアノリサイタル（再掲）

▼ 札幌コンサートホールが招へいする音楽家を他都市に紹介

札幌コンサートホールが招へいする音楽家及び専属オルガニストを他都市・他団体に紹介し公演を実施した。

①専属オルガニストによる公演

（ア）ファニー・クソーオルガン・リサイタル～From 札幌コンサートホール Kitara～（栃木県）

期日：令和7年6月28日（土）／入場者数：235人

（イ）オール・バッハ名曲選！！真夏のオルガンコンサート2025（大阪市）

期日：令和7年8月2日（土）／入場者数：783人

②反田恭平&ジャパン・ナショナル・オーケストラ北海道ツアー2025

（ア）北見公演

期日：令和7年9月9日（火）／入場者数：1,283人

（イ）帯広公演

期日：令和7年9月10日（水）／入場者数：1,304人

（ウ）函館公演

期日：令和7年9月13日（土）／入場者数：1,262人

③〈ハンガリーの俊英たち〉招聘アーティストによる公演

（ア）札幌音楽家協議会・ハイメス国際交流コンサート Rezonancia 共鳴 vol.4

期日：令和8年2月11日（水・祝）／入場者数：152人

▼ 国内ホールとの情報交換

全国の公共ホールと定期的に情報交換を行った。

①コンサートホール企画連絡会議

期日：令和7年7月（福岡）、令和8年3月（京都）

▽ 音楽芸術に関する情報収集及び提供に関する業務

▼ Kitara ギャラリーにおける展示

Kitara ギャラリーでのホール資料や収蔵品展示により、ホールの魅力を紹介した。
また、公益財団法人パシフィック・ミュージック・フェスティバル組織委員会や札幌文化芸術交流センターSCARTS と連携し、多彩な芸術文化の発信をした。

(1) アニヴァーサリーイヤーの音楽家たち 2025

期日：令和7年1月5日（日）～6月29日（日）／入場者数：1,627人（令和7年度分）

(2) PMF アカデミーの指導者たち

期日：令和7年7月9日（水）～10月13日（月・祝）／入場者数：1,083人

(3) 札幌文化芸術交流センターSCARTS・札幌コンサートホール連携事業「能藤玲子×砂澤ビッキ」

期日：令和7年10月26日（日）～令和8年2月1日（日）／入場者数：791人

(4) 生誕120年 ショスタコーヴィチの時代と音楽家たち

期日：令和8年2月7日（土）～6月28日（日）／入場者数：451人（令和7年度）

▼ 施設見学会等の実施

(1) 6回 210人（学校等団体による施設見学）

(2) 3回 144人（施設見学会）

コンサートホールのPR及びKitaraファン拡大のため募集型の施設見学会を実施したほか、学校等各団体からの要請に応じた施設見学の実施も行った。

▽ その他コンサートホールの設置目的を達成するために必要な業務

▼ 公演チケット及びオリジナルグッズの販売

Kitara チケットセンターを設置し、窓口、電話及びウェブでチケット販売を行った。加えて、ホームページ内のチケット購入方法ページを改良し、購入手順の説明動画をSNSで配信するなど、チケット購入の利便性向上と販売促進を図った。
また、ホールにより親しみを感じていただけるよう制作したオリジナルグッズや季節限定のワインの販売を行ったほか、財団他施設等のオリジナルグッズの受託販売を行い、商品ラインナップの充実を図った。

▼ ホール支援組織「Kitara ボランティア」との連携

札幌コンサートホール支援組織による「Kitara ボランティア」との連携により、主催事業等の充実やKitaraのPR活動を図った。

令和7年度ボランティア人数：100人

活動内容及び年間活動実績：

- ・ダイレクトメール発送活動（24 日）
- ・ホール見学会案内（12 日）
- ・Kitara ギャラリー運営補助（156 日）
- ・主催事業補助（9 日）
- ・専属オルガニストサポート（2 日）
- ・音楽情報誌「シンフォニア」の編集・発行（12 回）”

▼ オンラインの活用事業

Kitara アーティスト・サポートプログラムやリスト音楽院セミナーの応募方法について、郵送での申し込みのほかにオンラインフォームでの申し込みを実施した。また、子どものための Kitara 参加型音楽会では、Kitara へ赴くことが困難な学校に対してオンライン配信を行った。

▼ 他事業部との連携事業（再掲）

- ①〈札幌市民ギャラリー&Kitara 連携事業〉スプリングコンサート～ポジティブオルガンとヴァイオリンの調べ～（再掲）
- ②〈Kitara×札幌芸術の森連携事業〉金子三勇士ピアノリサイタル～芸術の森を歩いて～（再掲）
- ③〈Kitara×市民交流プラザ連携事業〉Kitara ギャラリー「能藤玲子×砂澤ビッキ」展（再掲）

▽ 補助金交付の対象となる自主事業の実施に関する業務

▼ Kitara ファースト・コンサート（再掲）

▽ パシフィック・ミュージック・フェスティバル（PMF）

15 公演（当ホール関係） 計 11,033 人

世界の若手音楽家を育てる PMF の主旨に賛同し、（公財）PMF 組織委員会に共催している。

また、PMF と当ホールのそれぞれの会員組織である「PMF フレンズ」と「Kitara Club」会員に対し公演割引料金の適用、Kitara ギャラリー「PMF アカデミーの指導者たち」への展示協力等を実施したほか、PMF オリジナルグッズをホールのチケットセンターで取り扱い販売協力も行った。

5 施設の利用等に関する業務

▽ 利用件数等

		R6年度実績	R7年度計画	R7年度実績
大ホール	件数(件)	293	303	295
	人数(人)	273,417	315,000	265,959
	稼働率(%)	85.9	86.0	84.9
小ホール	件数(件)	254	261	238
	人数(人)	44,565	60,000	50,634
	稼働率(%)	74.3	76.0	71.4
大リハーサル室	件数(件)	302	286	321
	稼働率(%)	78.8	73.5	78.9
小リハーサル室 A	件数(件)	326	227	364
	稼働率(%)	78.8	58.5	81.0
小リハーサル室 B	件数(件)	401	296	445
	稼働率(%)	90.0	71.0	90.6
総入場者数(人)		317,982	375,000	316,593

▽ 不承認 0 件、 取消し 14 件、 減免 0 件、 還付 10 件

▽ 利用促進の取組

▼ 11 月より新施設予約システムを導入し、札幌芸術の森・コンサートホール・札幌市民交流プラザの空き情報が確認可能となり、施設を横断的に確認できるようになった。また、利用者自身が申請状況を「マイページ」で確認可能となった。

6 付随業務

▽ 広報業務

▼ 施設と主催事業に関する広報

(1) 多くの市民に届く広報展開

札幌コンサートホール及び主催事業を広く周知するため、多様な媒体を活用した広報活動を行った。

〈実施内容〉

①ホームページ、SNS (X、Instagram)

バリアフリーページの改修を行い、利用者の利便性向上を図った。また、ホームページ利用者の意見収集のためのアンケートでは、短時間で回答しやすいよう設問や内容等を見直した結果、回答数が大幅に増加した。なお、ウェブアクセシビリティは引き続き、適合レベル AA 準拠を達成した。

令和 7 年度ホームページアクセス件数: 927, 187 件 (参考: 令和 6 年度 887, 568 件)

②公演情報誌「KitaraNEWS」

札幌コンサートホール主催事業の公演情報及び特集記事や公演カレンダーを掲

載した広報誌を発行した。

発行部数：延べ 138,000 部（6 回発行）

③子ども向け広報

札幌市小中学校校長会、札幌市 PTA 協議会に協力を依頼し市内小中学校へのちらしを配布したほか、小学生を対象とした新聞への広告掲出を実施した。

- ・市内小学校へのちらし配布：11 回
- ・市内中学校へのポスター配布：11 回
- ・道内小学生全員に配布される新聞への広告掲出：2 回

④その他

- ・テレビ CM 放映：4 回
- ・ラジオ番組での PR：12 回
- ・地下鉄南北線幌平橋駅電照広告の掲出（年間）
- ・地下鉄南北線車内ツインステッカー掲出：12 回
- ・地下鉄南北線ドア横額面ポスター掲出：2 回
- ・地下鉄駅構内地下鉄ポスター掲出：24 回
- ・SNS 広告：7 回

（2）観光客誘致のための広報

世界屈指の音響を誇るホールの認知度向上を目指し、国内外の観光客に向けた広報を実施した。

〈実施内容〉

- ・市内で開催される観光イベントと連携した広報：3 回
（さっぽろオータムフェスト、ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo、さっぽろ雪まつり）
- ・「札幌夜景・夜間観光ガイドブック」での施設紹介
- ・館内の英語版施設紹介ポスター掲出

▼ 財団他施設との広報連携

相互にちらしを配架することで情報発信の幅を広げた。

また、札幌市教育文化会館との連携事業「石山緑地薪能」の上映会においては、当ホールでチケット販売を行い、KitaraClub 会員に対して招待特典を設けるなど、相互協力の下、魅力発信及び来場者の促進を図った。加えて、KitaraClub 会員への他施設公演ちらしの送付、芸術の森美術館入館料の優待割引の設置など、新たなファン層の拡大を図った。

▼ ホールスポンサー制度

令和 6 年度にホールスポンサー区分及び特典の見直しを行った結果、スポンサーが増加した。

〈令和7年度スポンサー数〉

区分・協賛金額	令和7年度	令和6年度 (参考)
ゴールドスポンサー (協賛金 100 万円)	5社	2社
シルバースポンサー (協賛金 50 万円)	3社	5社
合計	8社	7社

〈ホールスポンサー制度の周知〉

- ・広報誌「KitaraNEWS」への広告掲出：1回
- ・札幌商工会議所発行の会報誌「さっぽろ経済」への広告掲出：1回（新規）

▽ 専属オルガニストの配置

(1) 第25代オルガニスト

主催公演：4回 外部公演等：4回

(2) 第26代オルガニスト

主催公演：5回 外部公演等：2回

リヨン国立高等音楽院より推薦を受けた赤枝サンテソン留果を第26代札幌コンサートホール専属オルガニストとして採用し、ホールの主催公演や外部公演（市内、道外）への出演に加え、教育事業にも参画した。

▽ その他コンサートホールの管理業務に付随する一切の業務

▼ 会員組織の運営

札幌コンサートホールの会員組織である「KitaraClub（有料）」と「Kitara アプリ会員（無料）」の運営を行った。

(1) KitaraClub（有料会員）

令和7年度会員数

- ・個人会員：4,098名
- ・法人会員：47社

〈参考〉令和6年度会員数

- ・個人会員：4,141名
- ・法人会員：45社

(2) Kitara アプリ会員（無料会員）

令和7年度会員数：13,724名

令和6年度会員数：11,615名（参考）

▼ 中島公園連絡会

中島公園連絡会

中島公園連絡会を通じて市公園緑化協会や市みどりの推進部、公園周辺施設や近隣事業者と連携し、中島公園の魅力を広める取組として Instagram の運営やコンテンツの制作に協力した。

3 利用者の満足度

▽ 利用者アンケートの結果

実施方法	利用者アンケートについては3部門で実施している。 ▼ 一般来館者・施設見学会参加者 施設に関するアンケート用紙をエントランスホールに設置し、一般の来館者（演奏会入場者以外も含む）を対象として、来館目的や回数、ホールで聴いてみたい音楽ジャンル、施設への要望等について調査した。施設見学会でもアンケートを実施し、来館経験や見学会への参加理由を調査し、施設への興味関心等を把握した。 回答数 209 件 ▼ 貸館利用者 アンケートの回収率を高めるため、様式等について検討を重ね、アンケートの手渡し方法も改めて、令和8年3月からアンケート回収を再開した。 回答数 18 件 ▼ 主催公演入場者 公演時にアンケート用紙を配布するほか、プログラム等にQRコードを添付し、後日、WEBで回答することもできる方法を実施している。 回答数 3,160 件”
結果概要	▼ 一般来館者・施設見学会参加者 満足度は95.2%（「とても満足」、「満足」、「普通」の合計）、ホールスタッフの接遇に対する満足度は94.7%（「とても満足」、「満足」、「普通」の合計）であった。 ▼ 貸館利用者 満足度は100%（「とても満足」、「満足」、「普通」の合計）、ホールスタッフの接遇に対する満足度も100%（「とても満足」、「満足」、

	「普通」の合計)であった。 また、アンケート様式の変更により、回答数が大幅に増加した。 (令和6年度 10件→ R7年度(3月のみ) 17件) ▼ 主催公演入場者 主催公演数の減少から回答数は減少したが、満足度は97.9% (「とても満足」、「満足」、「普通」の合計)、ホールスタッフの接客に対する満足度は97.5% (「とても満足」、「満足」、「普通」の合計)であった。 ▼ アンケート回答数(総数): 3387件 総合的な満足度は97.8% (「とても満足」、「満足」、「普通」の合計)、ホールスタッフの接客に対する満足度は97.3% (「とても満足」、「満足」、「普通」の合計)の高評価で、いずれも指定管理の目標を上回っている。
利用者からの 意見・要望と その対応	貸館利用者からはソフト・ハードの両面を含めた当ホールの環境に対し、高評価の声をいただいている。引き続き保守点検によるホールの性能維持及びお客様サービスの向上に努めたい。

Ⅱ 管理業務に係る収支決算

▽ 収支

項目	R7 年度計画	R7 年度決算	差(決算-計画)
収入	943,744	1,000,844	57,100
指定管理業務収入	897,081	954,155	57,074
指定管理費	607,954	634,516	26,562
利用料金	174,418	187,922	13,504
その他	114,709	131,717	17,008
自主事業収入	46,663	46,689	26
支出	990,067	990,478	411
指定管理業務支出	948,663	952,616	3,953
自主事業支出	41,404	37,862	▲ 3,542
収入-支出	▲ 46,323	10,366	56,689
利益還元			0
法人税等			0
純利益	▲ 46,323	10,366	56,689

▽ 説明

▼収入増加に伴う収支の大幅な良化

(1)

指定管理業務収入における指定管理費について、令和7年4月～令和8年3月の光熱費の高騰および人件費の上昇による管理費の改定により、26,562千円の増加となった。

(2)

指定管理業務収入における利用料金収入については、ホールでの貸館件数が増加したことを受け、大ホールの施設利用料金が計画よりも6,991千円増加したほか、リハーサル室のWEB予約の定着により利用が増加し計画よりも2,429千円増加するなど、合計で計画対比13,503千円増加した。

指定管理業務支出については、大幅な光熱費及び人件費の増加があったにも関わらず、消耗品購入の抑制、広告媒体の変更、印刷発注の自前化等、全般的に支出の抑制に努め、計画対比で411千円の増加に抑えることができた。

▼ 自主事業収入については、おおむね計画通りの収支となった。

▼ 指定管理業務支出については、消耗品購入の抑制、広告媒体の変更、印刷発注を自前化等、全般的に支出の抑制に努めたが、光熱費及び人件費の高騰が響き、計画対比で411千円の増加となった。

▼ 自主事業支出については、商品の仕入れと消耗品の購入量、修繕箇所が想定よりも少なかったことから、商品購入費が 1,338 千円、消耗品費が 1,205 千円、修繕費が 1,123 千円の減少となり、計画対比で 3,542 千円の減少となった。

Ⅲ 管理に関する協定書 第33条に規定する自主事業の実施状況

▽ 飲食・物販事業

▼ 売店事業

売上高 7,600 千円

▼ 自販機事業

売上高 1,875 千円

▼ レストラン事業

Kitara アプリ会員へのメニュー配信、月替わりメニューの提供及び主催事業来場者限定での当日利用割引などを行い、売上増加を目指すとともに、定期的に情報交換を行い、収益向上等について検討している。

▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等

▼ 再委託業務 63 件を市内に事業所を持つ企業に発注した。

▼ 障がい者を 1 名雇用し、福祉施策に取り組んでいる。

▼ 障がい者福祉支援施設よりオリジナルグッズを仕入、販売した。